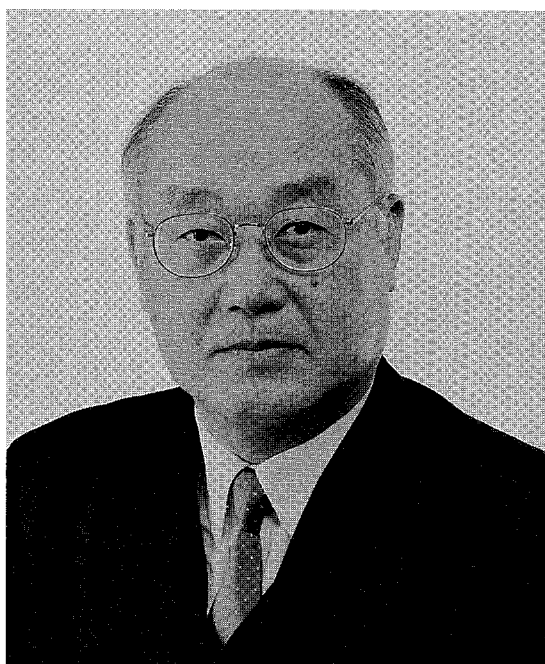




HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	略歴
Citation	經濟學研究, 48(4)
Issue Date	1999-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/32136
Type	departmental bulletin paper
File Information	48(4)_Pi-ii.pdf





白井孝昌教授 近影

略 歴

本 籍 地 香川県高松市扇町1丁目49番地
生年月日 昭和10年5月24日
誕 生 地 朝鮮慶尚南道釜山府草梁町
現 住 所 北海道札幌市北区太平2条4丁目5-12

学 歴

昭和29年3月 山口県立萩高等学校卒業
昭和29年4月 香川大学経済学部入学
昭和33年3月 同学部卒業
昭和34年4月 大阪大学大学院経済学研究科修士課程入学
昭和36年3月 同課程修了
昭和36年4月 同研究科博士課程進学
昭和37年10月 同課程退学

職 歴

昭和37年11月 大阪大学経済学部助手採用
昭和42年6月 同学部講師昇任

昭和45年 3月 同学部講師退職
昭和45年 4月 松山商科大学経済学部助教授採用
昭和47年 3月 同学部助教授退職
昭和47年 4月 北海道大学経済学部助教授採用
昭和55年 7月 同学部教授昇任
昭和58年 4月 大阪大学社会経済研究所教授を兼任する
昭和59年 3月 同研究所教授の任を解かれる

その他の経歴

昭和37年 9月 理論・計量経済学会会員、今日に至る
昭和42年 9月 Royal Economic Society会員（終身会員）
昭和49年 3月 アメリカ合衆国国務省の招聘により、1ヶ月半同国各地を視察旅行
昭和50年 8月 フルブライト客員研究員として1年間イェール大学経済学部にてジェームズ・トービン教授の指導のもとに貨幣理論の研究に従事する
昭和53年 8月 American Council of Learned Societies客員研究員として1年間シカゴ大学経済学部にてジョージ・スティグラー教授の指導のもとに経済学史の研究に従事するとともに、ロバート・ルーカス教授の主催する貨幣・銀行論ワークショップに参加する
昭和55年 1月 アメリカ研究札幌クールセミナー事務局の一員として同年および翌年の8月に行われた2回の国際学会の企画・事務処理に参画、昭和56年のセミナーについては事務局長を勤める
平成2年 1月 理論・計量経済学会理事に就任、2期（6年間）勤める
平成2年 3月 6ヶ月間ロンドンに滞在、ロンドン・スクール・オブ・エコノミックスの図書館のアーカイブで、主として、エドウィン・キャナン文庫によってイギリス古典派および新古典派の学説史に関する調査を行う
平成2年 8月 ケンブリッジ大学ニューナム・カレッジに滞在し、アルフレッド・マーシャル『経済学原理』刊行100周年記念コンファレンスに参加する
平成3年 1月 理論・計量経済学会1991年大会運営委員会委員長に就任、同年9月の大会の企画・運営を主宰する
平成4年 1月 理論・計量経済学会1992年大会運営委員会委員として、1992年大会の企画・運営に参与するとともに、そのパネルディスカッション「日本経済とマクロ経済学の進路」の企画を立て、その座長を勤める
平成4年 1月 北海道大学評議員を1期（2年間）勤める